

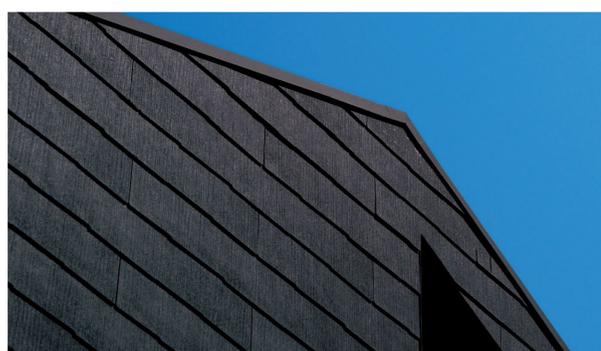
デザインと機能性を両立した

軒ゼロ 通気システム

隣棟間隔が狭く軒が迫り合う狭小地において、配棟の柔軟性、意匠性、耐久性や防火性を確保した軒ゼロ通気部材システム。従来品にはない新たな部材として地域ビルダーと板金施工会社が共同開発を行った。見付の最小化・防水性能の向上・部位毎に求められる換気量の確保と共に、都市で必須となる30分・45分の耐火基準をクリアし、都市型狭小住宅での軒の在るべき姿を示した。



機能性を満たした、シンプルな住宅ファサードを実現



ケラバ水切のスリム化

妻壁の通気性能確保のために垂木上部に壁の通気経路を設けた。ケラバの板金納まりを、通常とは逆の壁勝ち・屋根負けとしたことでケラバ水切は従来品の見付60mmから42mmへ縮小、欽込は25mmから41mmの1.6倍化を達成し、防水性を向上した。



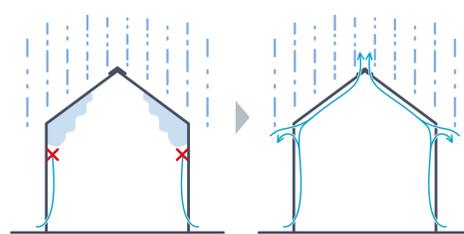
美しい稜線をつくる棟巴

棟の端部を覆う従来の棟巴は、切妻屋根頂部の突起物として外観意匠上の障害となるが、当社の「軒ゼロ通気システム」では棟巴勝ち・棟包負けの板金納まりとする事により、凹凸の無い屋根稜線を実現している。



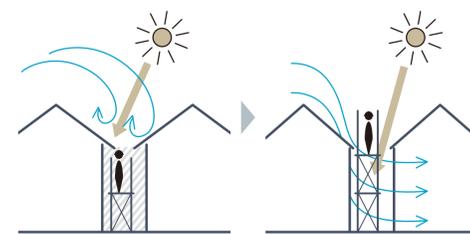
通気経路の確保

軒裏の死角に79cm²/mの換気口を設けることで桁壁の排出口と小屋裏の流入口の通気経路を確保した。軒の出ゼロであっても壁・屋根の通気経路を別々に確保でき、十分な換気量を確保することで、住宅の長寿命化に貢献している。



防水性能を向上した軒ゼロ

意匠性のみ追求された軒ゼロでは性能がないがしろにされ、防水性能が低い。「軒ゼロ通気システム」は見付寸法を最小化しながらも、防水性能を向上。換気口が樋の背面にある事で、強風時の雨水の吹き込みや、軒樋からの水跳ねによる雨水侵入も防ぐ事が出来る。



軒アリのデメリットを解消

狭小地において、性能を満たすものの中途半端に軒が出た屋根は多く見られるが、足場架けができない事による労働安全上の障害が生じている。「軒ゼロ通気システム」により施工効率が向上するとともに、隣棟間からの採光・通風の確保にも寄与している。



地域ビルダー
住宅への総合的なアプローチ

板金施工会社
職人としてのノウハウ

プロダクトデザイナー
恒久的なプロダクトの創造



同業他社や職人、デザイナーと共同開発し、オープンソース化

同規模の地域ビルダーや、開発意欲を持ち小ロットでの部材生産が可能な板金施工会社、そしてプロダクトデザイナーと共同開発を行った。「理想とする住宅に対し部材から考える開発力」「屋根施工の現場を知る職人の知識・経験」「時代が変わっても色あせないデザイン、持続性、品質、施工性の設計計画」を結集して生み出されたこの製品をオープンソース化することで、当社以外の住宅会社も同システムを利用できるように展開していく。